

平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	徳永
	全体計画						経費区分		-		内線	3642
事務事業名	4289 通常保育事業											
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課											
施 策	02020900 子育て環境の整備											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	030203 民生費・児童福祉費・保育所費										
	事業	030000 通常保育事業										
事業目的						事業概要・効果						
保護者の就労や病気により、家庭において十分保育することができない児童を家庭の保護者にかわって保育し、児童の健全な発育を図る。						保護者が昼間労働に従事するなど、家庭において十分保育することができない児童の保育を行った。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
	保育の実施延児童数11,374人
平成26年度 予定	平成27年度 予定
保育の実施予定延児童数11,256人	

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		84,660	88,023
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	100	296
	地方債	0	0
	その他	142,752	128,201
一般財源	△58,192	△40,474	
人員数(人)	正規職員	60.7	58.7
	嘱託職員	46.8	48.8
	臨時職員	55.5	57.0
人員コスト	正規職員	416,280.6	402,564.6
	嘱託職員	127,530.0	132,980.0
	臨時職員	65,323.5	67,089.0
	計	609,134.1	602,633.6
市民一人当たりの経費	13.3	13.2	
総額	693,794.1	690,656.6	

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	26	謝礼
11節 需用費	83,066	給食材料費等
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	132	通園費補助
その他	1,436	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	131	
その他	87,892	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	保育の実施は市町村事務のため必要不可欠	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	児童の健全育成には大変有効	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	民間での保育の質の向上には公立での保育の実施が不可欠なため	

振り返り（決算年度の取組み課題）

適切な保育の実施ができた

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
適切な保育の実施ができた		家庭において十分保育できない児童を保護者に代わって保育することができた。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	